

重要文化財 宝城坊修理現場見学

日時：平成 28 年 7 月 28 日 (木)

この企画は、本支部と NPO 法人すまいとまちづくり研究会の共催で実施されました。

参加者は、県央支部より 12 名、NPO 法人より 10 名でした。



1



2



3

当日は工事の設計監理を担当する（公財）文化財建造物保存技術協会の園田氏（宝城坊本堂設計監理事務所長）に解説をいただき、ほぼ出来上がった屋根、斗・肘木など組物、縁まわりなどの外部と内部を拝見しました。

すっばりと本堂を覆っていた素屋根はすでに解体撤去され、初夏の日差しに輝く茅葺の屋根と陰影の深い軒下、柱や板戸・板壁が対象的でした。深い軒の下の内陣はととも暗く、背面の板戸を開けてもおぼろげな様子に中世的な一端を見たような気がしました。

その後、外構の整備がなされ、手水場、向拝前の石段などが整い昨年 11 月 20 日に落慶供養が催されました。正月には 7 年ぶりの初詣ができるようになり、多くの方でにぎわいました。

数日前に訪れてみた時の写真をご覧ください。本堂右手にあった蠟梅（ろうばい）などの植栽はこれからの作業のようで、元の雰囲気がよく見えるには数年かかりそうな気配でした。

（南雲 一郎）



4



5



6



7

- 1: 見学会で解説を聞く参加者の方々
- 2: 背面側柱筋 嵌め込み板壁 (ここまで H28 年 /7 月、これ以降 H29 年 /5 月)
- 3: 南東面からの全景
- 4: 石段から除いた寄棟形式の屋根
- 5: 本堂正面、右手に手水場の屋根
- 6: 広縁軒まわり 虹梁と組物、二軒の垂木
- 7: 外陣・内陣境 朱塗の建具・菱欄間